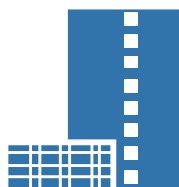


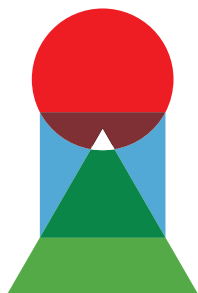
帯広畜産大学
Agriculture



小樽商科大学
Commerce



北見工業大学
Engineering



ACE

Agriculture/Commerce/Engineering

北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター

ACEは未来の北海道を共創する

オープンイノベーションセンターは、帯広畜産大学の「Agriculture(農学)」、小樽商科大学の「Commerce(商学)」、北見工業大学の「Engineering(工学)」の頭文字から、通称 **ACE(エース)** と名付けて活動する研究推進組織です。

ACEは北海道が抱える課題に対し、生産者から大学・企業等までが一体となって共同研究を行える体制の構築や、国のICT基盤を活かした情報共有システムを構築して研究情報を統合管理・活用・発信することで、産業界／現場が描く未来の姿を目指し、課題解決策を考える発想で実証試験の充実を図るなど、ACEが中核となった分野融合型の研究プロジェクトに取り組みます。

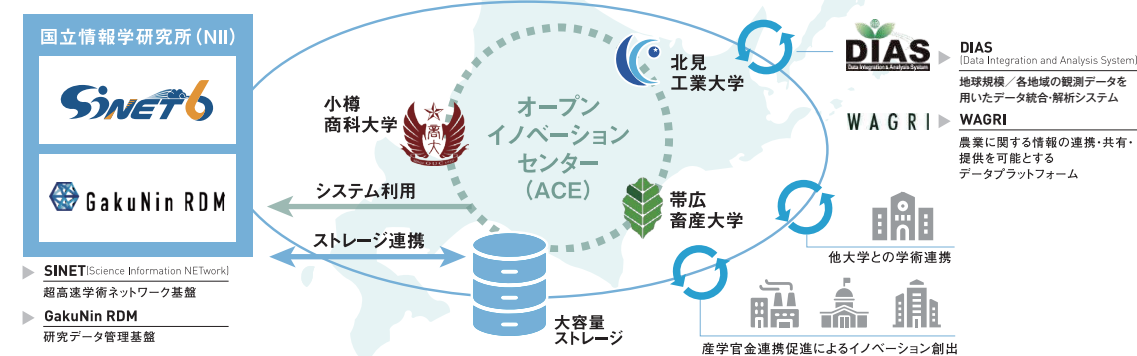


ACEの特徴と役割

ACEでは、分野の異なる三大学(帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学)が有する研究成果、人的資源等を最大限に活用し、北海道における地域社会の持続的発展に貢献するため、商農工融合による学術振興及び研究成果の社会実装を推進することで、産業界／現場の皆さまが抱える様々な課題について、ともに解決策を探ります。ご相談・ご要望は、北海道国立大学機構のワンストップ窓口までお寄せください。

三大学の研究シーズ集約・発信システム構築に向けた取り組み

- ▶ 国立情報学研究所 (NII) のICT基盤を活かした、三大学情報共有システムの構築
- ▶ 研究情報を統合管理し、研究力向上と技術の社会実装に向けた活用・発信
- ▶ ICTと人的交流の融合によるシームレスな共創



DIAS・SINET活用研究構想

- ▶ DIASカメラ利用による、中小河川等モニタリングポータル開設準備
- ▶ DIAS等を利用した被災地における情報共有プラットフォーム開設
- ▶ 気象・海象や観光資源情報を閲覧できるポータルの開設
- ▶ 観測網データや気象データの融合解析による、自然現象の発生予測モデルの構築

社会実装の支援

～ACEプロジェクトから第1号スタートアップ設立～

北海道国立大学機構は、北海道を中心に介護・福祉サービスを展開する(株)さくらコミュニティサービスとの共同研究で、人材育成・情報技術等、文理両側面から知見を提供し同社若手社員に対する新規事業開発のための研修プログラムの開発に取り組みました。

ACEは、本件に関してコーディネート業務を担当し、研究～スタートアップ設立を主導。2023年に「エイチスリー株式会社」が設立されました。同社には、機構発第1号認定スタートアップの称号が付与されています。



ACEプロジェクト始動

～商・農・工が連携する研究開発の推進～

北海道主要産業の活性化に資する研究や自然環境の特性を利用した課題解決型の研究を通じ、産学官金連携促進によるイノベーションを生み出すため、分野融合研究の貢献が期待される社会テーマ(観光、AI/IoT、スマート農畜産業、防災、食品/ヘルスケア、物流、冬季スポーツ等)についての研究・開発を推進します。

分野融合型研究プロジェクト

2022年のACE設立以降、分野融合型研究プロジェクトが次々と生まれています。分野融合型プロジェクトは、北海道国立大学機構が主導する研究プロジェクトのうちACEが認定し研究を推進しています。



【実績例】



環境データを活用した観光DX[Zekkeiプロジェクト]の展開

(小樽×帯広×北見)
令和4年度科研費 基盤研究B採択

北海道産広葉樹の資源管理と効率的活用を目指した研究

(北見×小樽)
令和5年度 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター委託研究



飼料収穫現場の人手不足に対応する運搬トラックドライバー向け運転サポートシステムの開発

(帯広×北見)
農林水産省・令和2年度 農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究

オープンイノベーション促進共同研究

北海道経済・産業の発展や繁栄に貢献し、実学の知の拠点として分野融合による知の社会実装を推進するための研究課題を「オープンイノベーション促進共同研究」として位置づけ、支援しています。本制度によって地域の自治体や企業等との連携が加速される研究開発が着実に進んでいます。

【実績例】

- 1) 自然現象の発生予測やデータ駆動型コンテンツ・周遊プランの構築による北海道の冬季観光活性化に向けた研究(北見×帯広)
- 2) シーベリー・アロニア・エゾウコギ・トウキ等の機能性評価・向上による北海道の農業振興に向けた研究(帯広×北見)
- 3) 一次産業シェア日本一の北海道における「カーボנקレジット」の好循環に向けた研究(小樽×帯広)



スタッフ



センター長
教授
川口 貴之



ACEでは、分野の異なる三大学の力を結集し、北海道の未来を切り拓くことを目指しています。
課題の共有、研究のご提案、協力の要望、どんなことでも構いませんので、是非とも気軽にお声がけください。
ACEをご活用いただきながら、皆さまとの連携を通じて、より良い社会の実現・北海道の明るい未来に貢献してまいります。



副センター長
教授
松本 朋哉



副センター長
教授
古林 与志安



管理運営部門長
(兼コーディネーター)
教授
東 陽介



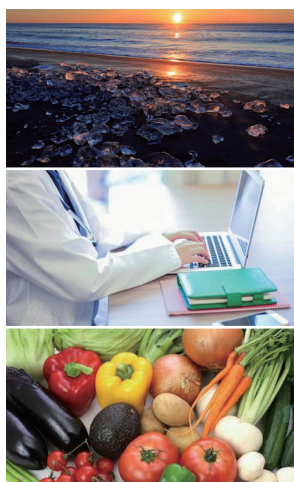
研究推進部門長
(兼コーディネーター)
准教授
三枝 昌弘



社会実装支援部門長
教授
北川 泰治郎



コーディネーター
特任准教授
本間 中



オープンイノベーションセンター (ACE)

〒090-0013 北海道北見市柏陽町603-2
TEL : 0157-26-4190
E-Mail : renkei02@office.nuc-hokkaido.ac.jp
<https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/ace/>



【札幌サテライト】
〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西13丁目28-21
エア・ウォーターの森2階212D



ACEロゴマークの由来

まる○・さんかく△・しかく□は3大学それぞれを表しており、Agriculture、Commerce、Engineeringの頭文字のシルエット (A=△、C=○、E=□) です。
「手前に広がる大地、その奥に海、そして日が昇る」というシーンから【ACEが未来の北海道を共創する】というコンセプトを表現しています。



国立大学法人
北海道国立大学機構
Hokkaido Higher Education and Research System

2026.6 作成